第３部:ワークショップ　[前半]

①「老いることの意味を問い直す －フレイルに立ち向う－」

■講師　飯島 勝矢 氏

(プロフィール)
東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 教授。
医師・医学博士。 東京慈恵会医科大学卒業後、千葉大学医学部附属病院、亀田総合病院、君津中央病院、東京都東部地域病院で研鑽を積み、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座講師、米国スタンフォード大学循環器内科研究員などを経て、現職。

(主な著書等)
『実践! オーラルフレイル対応マニュアル』
『老いることの意味を問い直す フレイルに立ち向かう』

■概要

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態です。人生100年時代を生き抜くには、身体が健康であるだけでは不十分であり、生きがい・社会参加・社会貢献などの活力を生む処方箋が地域の中で求められます。また従来のヘルスケア施策だけの枠に留まらず、地域社会の中にもデジタル化（ICT/IoT）を今まで以上に溶け込ませ、全世代にわたり人とのつながりや交流の機会を生む活動の場の創出、そして最終的に要介護時期を安心して暮らせる地域包括ケアシステムが地域・健康の格差なく構築されることが期待されています。

■場所　武蔵野大学8号館3階 教室